

令和4年度 オホーツク地区の研究活動

研修部副部長 斜里町立知床ウトロ学校
校長 鈴木 聡

1 はじめに

オホーツク管内校長会は、北見市、北見、網走、遠軽、紋別の五つのブロックの小中学校・義務教育学校に所属する120名で組織されている。各ブロック及び管内において研究大会が組織的・継続的に行われ学校組織の活性化や教職員の資質・能力の向上に向けて校長自らが職能向上に努めている。今年度の管内校長会研究大会は、第50回の節目にあたる大会であり、会員の会同による開催を目指し、計画を進めてきた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は大きく、昨年引き続き役員・提言者・助言者のみが会同し、その他はオンライン中継で会場を結ぶハイブリット形式で実施した。管内の教育課程を共有し、課題解決へ向けたプロセスについて具体的実践をもとにしながら研究を推進している。



管内研究大会第2分科会の様子 8.19

2 研究計画

(1) 研究主題（令和3年度策定3か年継続研究）

『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会を創り出す 日本人を育てる学校教育の推進』
～ オホーツクの大地に誇りと愛着をもち、
ともに未来を切り拓き社会を創造する子どもを育む学校経営の推進 ～

(2) 研究推進基本事項

- ① 管内校長会が組織的・計画的に研究を進めるため、4つの研究領域を設定し、それぞれを研究推進のための分科会とする。
- ② 各分科会は、「校長としての指導性」の観点から研究課題を設定する。
- ③ 会員全員がいずれかの分科会に所属し、各分科会の研究課題に基づいた研究を会員ごとに進める。
- ④ 会員は、各分科会の研究課題から自校の経営や教育活動上の課題を探り、学校・児童生徒・地域社会の実態を踏まえ、一校を経営するという自覚に立った実践研究を進める。
- ⑤ 各分科会には、年度ごとに提言者を置き、各分科会の研究課題に基づいた研究発表を管内研究大会において行う。
- ⑥ 研究発表は、各学校で行われている研究課題への取組を基に作成されるが、担当の市町村校長会は、提言者の提言内容が研究課題に沿い、成果や課題が明らかにされるように助言・協力を行う。
- ⑦ 管内校長会研修部は、提言者が研究内容とした研究課題を早期におさえ、提言者の取組の成果や課題が明らかになるような助言を行う。
- ⑧ 管内研究大会における研究発表及び討議の柱に基づいた研究協議を通し、校長会組織として成果や課題を明らかにする。

(3) 本年度管内教育研究大会における分科会と研究課題

① 第1分科会【学校経営】

小「学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の指導性」
中「創意と活力に満ちた学校経営ビジョンと校長の指導性」

② 第2分科会【教育課程】

小「家庭や地域の特色を生かした教育課程の編成・実施と校長の指導性」
中「家庭や地域の特色を生かした教育課程の編成・実施と校長の指導性」

③ 第3分科会

小「教職員の意識改革と協力して学校運営に参画する校内体制の充実と校長の指導性」
中「教職員の意識改革と協力して学校運営に参画する校内体制の充実と校長の指導性」

④ 第4分科会

小「命を守る安全教育・防災教育の推進と校長の指導性」
中「様々な危機への対応と未然防止の体制づくりにおける校長の指導性」

3 今年度の研究活動の概要

(1) 第50回オホーツク管内校長会教育研究大会

期日・会場：令和4年8月19日（金）北見市「ホテル黒部」オンライン開催
協 議：4分科会 各分科会で小中1本ずつの提言及び協議

(2) ブロック研究大会

① 網走ブロック校長会教育研究大会【網走市・斜里町・清里町・小清水町・大空町】

期日・会場：令和4年7月27日（水）Zoomによるオンライン開催
講 演：北海道教育庁オホーツク教育局義務教育指導監 佐藤 大 様
協 議：4分科会での参加者全員のレポート協議、小中2分科会での提言及び協議

② 北見ブロック校長会学校経営研究会【美幌町・訓子府町・置戸町・津別町】

期日・会場：令和4年7月26日（火）津別町役場 検診ホール
講 話：北海道教育庁オホーツク教育局義務教育指導監 佐藤 大 様
協 議：小中学校の提言及び協議

③ 北見市ブロック校長会学校経営研修会【北見市】

期日・会場：令和4年7月26日（火）端野総合支所2階大会議室、中会議室
協 議：2分科会（小・中）に分かれての提言及び協議

④ 遠軽ブロック校長会研究大会【遠軽町・湧別町・佐呂間町】

期日・会場：令和4年7月26日（火）Zoomによるオンライン開催
協 議：2分科会（小・中）に分かれての提言及び協議

⑤ 紋別ブロック校長会研究大会【紋別市・滝上町・興部町・西興部村・雄武町】

期日・会場：令和4年7月29日（金）紋別市文化会館
講 話：北海道教育庁オホーツク教育局義務教育指導監 佐藤 大 様
協 議：3部会に分かれての提言及び協議

4 おわりに

今年度は、3か年継続研究の2年目となる年である。会同による管内研究大会は実現しなかったが、職能向上や今日的課題の解決に係る研鑽を深める機会とすることができた。また、運営側も参加者も昨年度獲得したハイブリッド開催のノウハウを生かし、ウィズコロナの時代にふさわしい充実した研究大会とすることができた。今後も、会員同士のつながりを大切に、学校経営の責任者たる校長の果たすべき役割と指導性を究明すべく研究を進めていく。